

めざす学校像・子ども像・教員像		課題	今後の改善方策
<p>○地域・家庭との連携を通して生徒のヒューマンスキルを育成する学校</p> <p>○企業・関係機関・家庭と連携し、生徒の働き続ける力を育成する学校</p> <p>「めざす生徒像」</p> <p>○働き続けることができる知識・技能・態度・習慣を身につけた生徒</p> <p>○自他を大切にすることをもち、自ら豊かな生活を築く力を身につけた生徒</p> <p>「めざす教職員像」</p> <p>○生徒や保護者の思いや願いを適切に受け止め、信頼と期待に応える教職員</p> <p>○因習にとらわれず、自ら考え積極的に資質・能力の向上を図り、キャリア教育の専門性を有した教職員</p>		<p>働き続ける力を育むための授業改善</p>	<p>○本校の生徒に求められる資質・能力と働き続ける力についての再整理</p> <p>○テーマ研修の機能的運用と授業研究を通じた授業改善の推進</p> <p>○講師を招聘し、新しい指導要領についての理解を深める。</p>
		<p>実習件数の更なる増大</p>	<p>○1年次における実習件数の増加</p> <p>○実習受入企業の新規開拓</p> <p>○3年次では、マッチングを意識した上での実習の設定</p>
		<p>組織的な生徒指導の徹底</p>	<p>○生徒指導委員会の更なる機能化。その上での統一した指導。</p> <p>○生徒の特性や、環境に配慮した個別の対応の実施と、職員間の共通確認</p>
重点目標	指標(取組指標・成果指標)	達成状況についての説明	
<p>働き続ける力を育む指導内容・方法の工夫改善に努める。</p>	<p>年度内に、「働き続ける力」について、定義する。</p>	<p>・「働き続ける力」については、詳細な定義までに至っていない。次年度の課題として、申し送る。</p> <p>・10月と11月に6本の授業(各学年2本づつ)について、授業参観及び協議会を行った。授業を立案すること、参観と協議会の重要性が、校内に於いて浸透し始めている。</p> <p>・授業形態について研修会で取り上げ、少人数での指導と個別課題について、検討を始めている。</p> <p>・中学校A事業へは、概ね設定した指標通りの参加を達成した。次年度も継続して参加を呼びかけたい。</p> <p>・職員への学校経営案についてのアンケートでも、教育課程の検討と、指導方法の工夫についての項目は、低い評価である。</p>	
	<p>2学期に、職員相互による授業参観を実施し、T1を担当する全ての職員は授業を公開する。</p>		
	<p>少人数での指導について研修を深め、次年度へつなげる実績を作り上げる。</p>		
	<p>中学校A事業へ、10名以上参加する。</p>		
<p>進路支援の充実に努める。</p>	<p>年度内1人あたりの実習件数を2回以上とする。</p>	<p>・年度内1人あたりの実習件数については、指標を達成することは出来なかった。来年度以降も継続した課題となる。</p> <p>・新規開拓企業数については、目標を超える数を達成した。</p> <p>・開校以来の卒業生316名中、100名前後の卒業生の進路先を訪問し、情報収集を行うことが出来た。</p> <p>・フォローアップについては、次年度以降も継続した取り組みとする計画である。</p> <p>・他の支援学校への就労に関しての側面的支援については、概ね目標回数達成した。今後は、更なる周知方法の検討が必要である。</p> <p>・職員への学校経営案についてのアンケートでも、進路支援の充実にについては、高い評価である。</p>	
	<p>年度内新規開拓企業60社以上を達成する。</p>		
	<p>新たなフォローアップ体制として、新卒生徒への定期的な情報収集を実施する。</p>		
	<p>他の支援学校への就労支援件数20回程度を達成する。</p>		
<p>生徒指導及び教育相談の充実に努める。</p>	<p>他機関(SC, SSW, 子育て支援課)とも連携した生徒指導を実施する。</p>	<p>・SCとの連携は順調である。また、各区の基幹相談センターとの連携については4件実施した。</p> <p>・登下校時の生徒の行動については、評価していただいたコメントだけが多数学校に届いている。</p> <p>・QUアンケートについては、6月に1年性40名に対して実施し、夏季休業中に、SCを講師として活用法の研修を行った。</p> <p>・遅刻件数については、2・3年生は特定の生徒について増加した。しかし1年生については激減しており、総数は横ばいの状態である。</p> <p>・不登校状態の生徒への、進路選択を含めたよりきめ細かい対応が必要である。</p>	
	<p>登下校時の行動について、地域からのコメント内容の向上を目指す。</p>		
	<p>QUアンケートを1年生において先行実施し、読み取り方や生かし方について研修会を夏季休業中に行う。</p>		
	<p>1人あたりの遅刻件数を前年度より減少させる。</p>		
<p>学校関係者評価についての説明(評価委員からの意見・要望・改善に向けた提言等)</p>			
<p>○不登校生徒への対応は、どの学校でも問題となっている。根気強く取り組んで欲しい。</p> <p>○卒業生全員の進路先が、3月中に決定することを願っている。</p> <p>○就労先に、1次産業がもっと増えることを期待している。</p> <p>○卒業生のフォローアップは、重要である。今後も大切に進めて欲しい。</p>			